

中期目標達成に向けた農林水産分野の貢献

- 農林漁業・農山漁村を再生し、国民の期待に応えるためには、革新的な環境技術を軸に新たなフロンティアを開拓しつつ、農林漁業を通じた環境貢献と、活力ある持続的な社会の構築を実現することが必要。
- 「危機はチャンス」と捉え、新たな価値観に基づく成長を実現し、雇用の創出や農山漁村地域の再生・活性化を図ることを目標とする。

【主な対策】

I 農林水産分野からの発生抑制

- ・ 水田メタン対策
- ・ 省エネルギー生産施設の導入

II 吸収源対策

- ・ 森林吸収源対策の着実な実施
- ・ 農地土壌吸収源対策の推進

III バイオマス産業の振興

- ・ バイオ燃料の生産拡大、木質バイオマスの供給拡大
- ・ プラスチック等のマテリアル利用の推進

IV 再生可能エネルギーの供給基地化

- ・ 小水力発電、風力発電等の導入
- ・ 太陽光パネルの設置の加速化

V 国際協力

- ・ 研究協力
- ・ 技術協力

【課題・対応策等】

- ・ 農林漁業者への技術の浸透
- ・ 排出量取引制度の確立・普及

- ・ 適切な国際ルールの確保
- ・ 間伐等の森林整備の一層の推進
- ・ 農業者等への管理技術の浸透
- ・ 新たな吸収源(藻場、干潟)の検討

- ・ 技術開発のさらなる推進
- ・ 原料の生産・収集システムの高度化
- ・ 製品利用円滑化に向けた社会環境整備

- ・ 電力の固定価格買取制度の対象拡大
- ・ 設置の際の用地確保策等の検討
- ・ 導入支援策の充実

- ・ 水田からのメタン発生抑制等に係る研究協力
- ・ バイオマス利活用技術に係る協力
- ・ 途上国における森林減少・劣化に由来する排出削減(REDD)の取組支援

現場での取組



環境保全型農業の
推進による施肥量の
適正化・低減

リターナブル容器
の利用の推進



木質ペレットボイラー
の導入など、木質バイオ
マス燃料の利用

間伐などの森林整
備の推進



 建築物の木造化の推進



発光ダイオード集
魚灯など省エネ機器
等の導入

新たな経済的手法の導入による 排出削減の加速化

排出量取引



「見える化」



「見える化」の表示の例